

# 技術専門学院のこれまでの取り組みと今後求められる対応について

## 県立の職業能力開発校のあり方<基本的な考え方> ※富山県職業能力開発審議会 答申(H18.6)

- 県立施設では、民間のできるものは民間での役割分担を踏まえ、(ものづくり分野を中心に)民間教育訓練機関等で適切な教育訓練機会を提供することが困難なものや行政として先導的に取り組むべきものを実施。  
また、ニーズに的確に対応するため、弾力的な運営や効果的な訓練方法等を積極的に導入
- 離転職者訓練は、多様な民間教育訓練機関への委託を進めるとともに、雇用・能力開発機構との間で、訓練コースの設定等を十分調整。在職者訓練は、地域の中小企業のニーズを十分反映。
- 今後、訓練コース単位等で就職率等の目標を設定し、事業評価を行い、適時適切な見直しを実施

※[現在]高齢・障害・求職者雇用支援機構

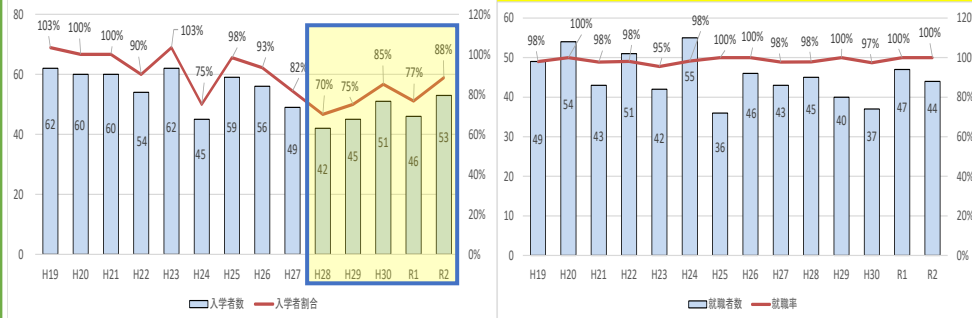
### <組織・学科の見直し(H19.4)>

- 【組織】3つの職業能力開発センター(富山、黒部、福野)を廃止し、技術専門学院に統合【4校 → 1校】
- 【学科】普通訓練科(学卒者) → H20.4から現行の学科(3科)
- 短期訓練科(離職者) → 順次見直し、H28.4から現行の学科(本校6科、新川・砺波 各3科)

### 組織・学科の見直し後 ※H19~R2(14年間)

#### ○学卒者向け訓練

入学 → 約90%(H28~R2:約80%)、就職 → ほぼ100%



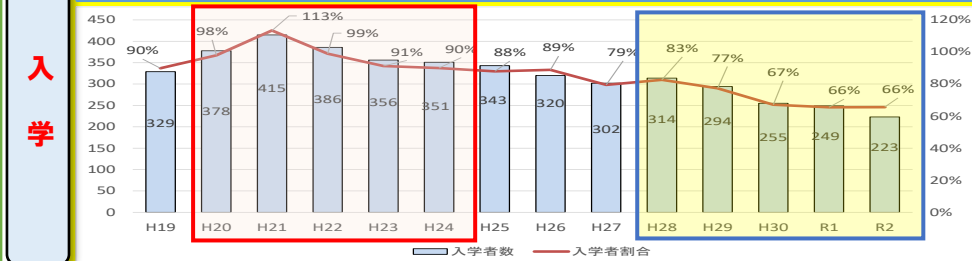
#### ○離転職者向け訓練(両センター含む)

※景気や雇用情勢に左右される

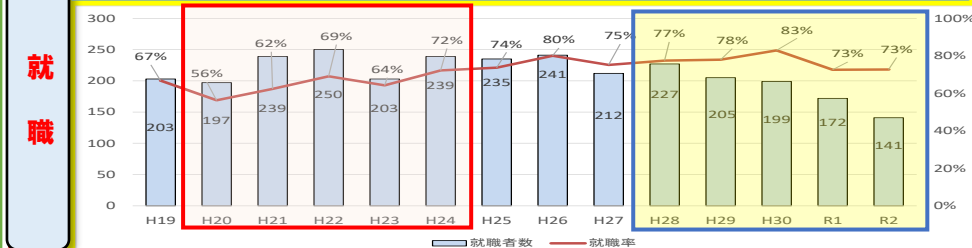
【悪化時】入学は上昇、就職は低下傾向【回復期】入学は低下、就職は上昇傾向

景気・雇用 ※悪化(H20~H24) H20 リーマンショック ※回復期(H25以降) ※ただし、R2は新型コロナで不透明

約85%【悪化時(H20~24)】約100% > 【回復期(うちH28~R2)】約70%



約70%【悪化時(H20~24)】約65% < 【回復期(うちH28~R2)】約75%



### 県職業能力開発計画(第11次) ※R3~R7(5年間)

#### 第2部 職業能力開発を取り巻く現状と課題(抜粋)

- 1 社会経済の潮流
  - (1)労働人口の減少および職業人生の長期化
  - (2)新型コロナの影響も踏まえた社会や労働構造の変化
    - ・DXの加速化に伴う、IT人材の需要の高まり
- 2 雇用の状況 (1)労働市場の状況・新型コロナにより情勢は不透明
- 3 県内企業における職業能力開発の状況
  - (1)新型コロナによる影響・DX(IoT, AI, RPA等)の推進
    - ・テレワークの導入は従業員の多い事業所ほど進んでいる
    - ・IoT, AI, RPA等に取り組む課題として担当技術者がいない

#### 第3部 職業能力開発施策の実施目標(抜粋)

##### 目標1:経済社会の変化に対応するための人材育成

【基本方向】DX(IoT, AI, RPA等)への対応など、労働者に求められる新たな職業能力の育成・キャリア形成への支援等に加え、生産性の向上に向けた人材の育成を図る

##### 目標2:女性・若者・中高年齢者や特別な配慮が必要な方の育成

【基本方向】誰もが働きやすい環境の整備とともに、女性、若者、中高年齢者、障害者、外国人労働者、就職氷河期世代等の多様な人材が自らの能力を高め、その能力を発揮できる人材の育成を図る

##### 目標3:ものづくり産業の発展を支える人材の育成

【基本方向】高度熟練技能等の円滑な継承に取り組むとともに、将来のものづくりを担う若手技能者の着実なスキルアップのため、基礎的な技能習得から技能レベルに応じたきめ細かな指導・訓練を行う等

##### 目標4:産業構造の変化や地域ニーズに対応するための人材の育成

【基本方向】人手不足となっている介護・福祉等、労働力需給ギャップの拡大に対応するため、地域ニーズを踏まえた人材育成を進める

##### 目標5:職業能力開発の推進体制の整備

【基本方向】県が担う公共職業訓練については、産業構造や技術革新の動向と県内産業のニーズを踏まえ、訓練内容の見直し・改善を図り、訓練指導員の指導力・資質の向上に努める等

## 公的職業能力開発施設の状況



- 県立(3か所)
  - ・富山地域(1)【学卒者・離職者】
  - ・新川地域(1)【離職者】
  - ・砺波地域(1)【離職者】
- ▲ 機構立(2か所)
  - ・新川地域(1)【学卒者】
  - ・高岡地域(1)【離職者】

### 今後、技術専門学院に求められる対応

#### ■現状分析、社会情勢、企業ニーズ等を踏まえた訓練の見直し など

##### ○デジタル化への対応

<求められる役割>  
・デジタル技術の利活用等による生産性の向上を担う人材の育成

##### ○地域ニーズ等への対応

<求められる役割>  
・人手不足分野や企業ニーズ、学び直しニーズに即した職業訓練

カリキュラム等の訓練内容の見直し

#### 【学卒者向け訓練科】【離転職者向け訓練科】

<本校>	<本校>	<新川>	<砺波>
自動車整備科	金属(加工・ものづくり基礎)科	エコ住宅リフォーム科	パソコン事務科
メカトロニクス科	造園管理科	ビジネス実務科	簿記・会計科
電子情報科	環境エネルギー設備科	介護サービス科	介護サービス科
	木材加工科		
	OA事務科		

現状

企業ニーズ・課題

■学卒者向け訓練(2年間) **入学や就職は、景気や雇用情勢に大きく左右されない** ●就職は、ほぼ100%、入学は約90%だが、近年、約80%に低下

自動車整備科

メカトロニクス科

電子情報科

区分	入学状況(入口)	就職状況(出口)	指導員	民間競合
	H19~R2(14か年)		就職先(例)	(施設内訓練)
全体	89% (雇用悪化時:H20~24)94% (回復期:うちH28~R2)79%	99% (雇用悪化時:H20~24)98% (回復期:うちH28~R2)99%	12名	
定員 40名 20×2年	<p>104% (悪化時)107% (回復期)99% ※直近5年</p> <p>※悪化(H20~H24) H20 リーマンショック</p> <p>※回復期(H25以降) ただし、R2は新型コロナで不透明</p>	<p>100% (悪化時)100% (回復期)100%</p>	トヨタ 日産 ダイハツ いすゞ	富山自動車専門学校(富山)
40名 20×2年	<p>78% (悪化時)82% (回復期)67%</p>	<p>98% (悪化時)97% (回復期)98%</p>	キタムラ機 械 スギノマシ ン 富山村田製 作所 日清工業	ポリテクカレッジ(魚津)
40名 20×2年	<p>84% (悪化時)92% (回復期)71%</p>	<p>97% (悪化時)96% (回復期)99%</p>	高志インテ ック 日本ソフテ ック 北陸ジーエ スシー 北陸コンピ ュータービ ジネス	富山情報ビジネス専門学校(射水)

<企業ニーズ>  
 ・自動車整備士は全国的に不足、求人ニーズは高い  
 ※企業から実習用エンジン等の寄付  
 ・自動車整備振興会からの要望

<課題>  
 ・EV(電気)化に対応した訓練  
 ・指導員の高齢化

<企業ニーズ>  
 ・求人は、ものづくり系(加工等)が大半で、企業ニーズは高い  
 ・基礎的技術に加え、CAD/CAMなどデジタル生産技術も重視

<課題>  
 ・工場の自動化(FA化)に対応したさらなるデジタル技術の習得  
 (設計から製造・組立てまでの一連のプロセスでのデジタル訓練の充実)  
 ・訓練生の確保  
 ・指導員の高齢化

<企業ニーズ>  
 ・AIやIoTの導入が進む高度情報化社会で基礎的な技術を活用できる人材






<課題>  
 ・コンピューターのハード・ソフト両面のさらなる技術習得  
 ・訓練生の確保  
 ・指導員の高齢化



現状

企業ニーズ・課題

■離転職者向け短期訓練(4か月~1年間) 入学や就職は、景気や雇用情勢に左右される(悪化時)入学は上昇、就職は低下傾向 ●近年、双方とも低下傾向

区分	入学状況(入口)	就職状況(出口)	就職先(例)	指導員 (施設内訓練)	民間競合
全体	H19~R2(14か年) 85% (雇用悪化時:H20~H24)99% (回復期:うちH28~R2)69%	67% (雇用悪化時:H20~H24)60% (回復期:うちH28~R2)74%		9名	
金属(加工ものづくり基礎科)	49% (悪化時)80% (回復期)33% ※直近5年 ※悪化(H20~H24) H20 リーマンショック ※回復期(H25以降) ただし、R2は新型コロナで不透明 ■このほか企業からの受託生 【H28】3名【H29】2名 【H30】2名【R1】4名【R2】5名 ※30~40代6割	71% (悪化時)59% (回復期)80% 就職者数 就職率	佐藤鉄工 コンチネンタル 新日本海重工	2名 50代×1名 40代×1名 ※R3 定年 R4~再任用予定	ポリテクセンター(高岡) 【製造関係(300名)】 ●テクニカルメタル ワーク(40) 
造園管理科	92% (悪化時)109% (回復期)72% ※60代7割	72% (悪化時)69% (回復期)73% 就職者数 就職率	中曽根造園 立山造園 サカタニ造園 園土木	2名 50代×1名 40代×1名 ※免許保持者 この2名のみ	職芸学院(富山) 2年制【造園、ガーデニング(庭づくり)】 ●環境職芸科(40) 
環境エネルギー設備科	69% (悪化時)81% (回復期)50% ■このほか企業からの受託生 【H28】1名【R1】1名 ※20~40代6割	72% (悪化時)69% (回復期)73% 就職者数 就職率	県電気工事組合 県エルピーガス協会 市上下水道課	2名 50代×2名 ※配管、電気の免許保持者が不足	なし 
木材加工科	75% (悪化時)94% (回復期)61% ※60代4割	65% (悪化時)54% (回復期)79% 就職者数 就職率	タカマツタテグ 野澤木工 新日軽北陸	2名 60代×1名 50代×1名	なし 
OA事務科	109% (悪化時)118% (回復期)98% ※女性9割	69% (悪化時)62% (回復期)73% 就職者数 就職率	富山青空申告会 能作 三菱電機ビルテクノ	1名 50代×1名 (+外部講師) ※R4 定年 R5~再任用予定	スキル(富山)他 

<企業ニーズ>  
・人材不足が深刻な分野で、関係企業からの求人が多い  
・訓練校は県内2施設のみ(技専、ポリテクセンター)のみで、企業からの在職者訓練の要請が強い

<課題>  
・訓練生の確保  
・指導員の確保(R8再任用修了)  
・施設の老朽化(築60年超)

<企業ニーズ>  
・即戦力を求める、半年の訓練は短い  
・土木工事に関する技能(エクステリア等)  
・車両系建設機械の操作資格

<課題>  
・科名・職芸学院との差別化  
・訓練生の確保(高齢者が大半)  
・就職率の向上

<企業ニーズ>  
・(省エネ、長寿命化に伴う設備の更新需要もあり)電気工事士の免許、配管の技能を持つ人材が不足

<課題>  
・科名(訓練内容不明)・訓練生の確保  
・就職率の向上(就職幅を広げる訓練科目)  
・指導員の確保

<企業ニーズ>  
・ニーズ把握が必要

<課題>  
・訓練生の確保  
・建築系学科のあり方(新川エコ住宅め)  
・施設の老朽化(築60年超)

<企業ニーズ>  
・ものづくり企業で働くためのスキル訓練(ITセキュリティ等)

<課題>  
・民間機関との競合  
・雇用情勢が悪化した場合(受け皿)  
・就職率の向上  
リーマン後(H20~24)  
@73名/年



【建物整備】  
H7(25年超)  
【協力会】  
57社

# 新川センター【離転職者訓練】

R3. 7. 14  
技術専門学院

## 現 状

### 企業ニーズ・課題

■離転職者向け短期訓練(2か月～1年間) **入学や就職は、景気や雇用情勢に左右される(悪化時)入学は上昇、就職は低下傾向** ●近年、双方とも低下傾向

区分	入学状況(入口)	就職状況(出口)	就職先(例)	指導員 (施設内訓練)	民間競合
全体	83% (雇用悪化時:H20~H24)94% (回復期:うちH28~R2)70%	69% (雇用悪化時:H20~H24)63% (回復期:うちH28~R2)73%		4名	
定員 (延べ) 30名 (1年)10 (6か月) 10×2  H26~ 旧住宅 リフォーム 科(定員 △10)	<b>65%</b> (悪化時)73% (回復期)52% ※直近5年 ※悪化(H20~H24) H20 リーマンショック ※回復期(H25以降) ただし、R2は新型コロナで不透明 ■このほか企業からの受託生【H29】2名【H30】2名 	<b>62%</b> (悪化時)57% (回復期)67% 	野澤木工 石崎建材社 新川住宅サー ビス 塩谷建設	2名 40代×2名	なし  
ビジネス実務科 (4か月) 20×2 (4か月) 10×1	<b>102%</b> (悪化時)110% (回復期)92% 	<b>70%</b> (悪化時)64% (回復期)74% 	YKKAP YKKビジネスサ ポート スギノマシン	2名 50代×2名 ※R3 定年 R4~再任用予定	FIT (富山)  
介護サービス科 (2か月) 20×2 【R2】20名  H25~ 2回(定 員+20)	<b>73%</b> (悪化時)97% (回復期)55% ■このほか企業からの受託生【H28】4名【H29】1名【H30】3名【R1】2名【R2】2名 	<b>74%</b> (悪化時)70% (回復期)78% 	あんどの里 おあしす新川 おらはうす 宇奈月	外部講師	ニチイ (魚津)  

<企業ニーズ>  
・人手不足が深刻な分野で、就職率も高いことから**企業ニーズは高い**

・若い人材が欲しいとの声強い

・求職、求人とも富山・高岡圏が比較的多い

<課題>

・訓練生の確保

・就職率の向上

・科名(限定的に捉えられる)

・建築系学科のあり方(本校の木材含め)

<企業ニーズ>

・経理・労務ができる人材供給が企業から求められている

・ものづくり企業で働くため**スキル訓練**(ITセキュリティ等)

<課題>

・民間との競合

・雇用が悪化した場合(受け皿)

・就職率の向上

リーマン後(H20~24)  
@55名/年

<企業ニーズ>

・人手不足が深刻な分野で、就職率も高いことから**企業ニーズは高い**

・実務者研修の実施を望む声がある

<課題>

・訓練生の確保

・雇用が悪化した場合(受け皿)

・指導員がない(外部講師対応)

リーマン後(H20~24)  
@19名/年





【建物整備】  
S36(約60年)  
【協力会】  
19社

# 砺波センター【離転職者訓練】

R3. 7. 14  
技術専門学院

## 現 状

■離転職者向け短期訓練(2か月～4か月) **入学や就職は、景気や雇用情勢に左右される(悪化時)入学は上昇、就職は低下傾向** ●近年、双方とも概ね順調

## 企業ニーズ・課題

パソコン事務科

簿記・会計科

介護サービス科

区分	入学状況(入口)	就職状況(出口)	就職先(例)	指導員 (施設内訓練)	民間競合
全体	92% (雇用悪化時:H20~H24)100% (回復期:うちH28~R2)83%	83% (雇用悪化時:H20~H24)80% (回復期:うちH28~R2)88%		1名	
定員 (延べ) 20名 (4か月) 10×2	<p>108% (悪化時)110% (回復期)104% ※直近5年</p> <p>※悪化(H20~H24) H20 リーマンショック</p> <p>※回復期(H25以降) ただし、R2は新型コロナで不透明</p> <p>■女性9割</p>	<p>87% (悪化時)83% (回復期)94%</p> <p>■女性9割</p>	製造事業者 販売事業者	1名 50代×1名	アルファデーター (砺波) パスタシステム (氷見)
10名 (4か月) 10×1	<p>98% (悪化時)106% (回復期)92%</p> <p>■女性9割</p>	<p>88% (悪化時)85% (回復期)85%</p> <p>■女性9割</p>	製造事業者 販事業者		
40名 (2か月) 20×2 [R2]20名	<p>82% (悪化時)94% (回復期)68%</p> <p>■このほか企業からの受託生受入れ[H28]1名[R1]1名</p> <p>■女性8割</p>	<p>80% (悪化時)78% (回復期)84%</p> <p>■女性8割</p>	北陸福社会 南砺西友病院 ほっとはうす 千羽	外部講師	ニチイ(砺波) 三幸福祉カレッジ (砺波)

<企業ニーズ>  
・経理・労務ができる人材供給が企業から求められている  
・ものづくり企業で働くためスキル訓練(ITセキュリティ等)

<課題>  
・民間との競合  
・雇用が悪化した場合(受け皿)  
・就職率の向上

リーマン後(H20~24)  
@33名/年

<企業ニーズ>  
・人材不足が深刻な分野で、就職率も高いことから企業ニーズは高い  
・実務者研修の実施を望む声がある

<課題>  
・訓練生の確保  
・雇用が悪化した場合(受け皿)  
・指導員がない(外部講師対応)

リーマン後(H20~24)  
@38名/年

## 【参考】その他

<課題>  
・特色ある訓練科がない(ものづくり系)  
・施設の老朽化(築約60年)  
(仮に)新たな学科を設置する場合  
・施設・設備の投資  
・指導員(学科の資格をもつ)の確保